



Fukuoka Prefectural University

Kendai

magazine 2015 春号

no.18

福岡県立大学広報

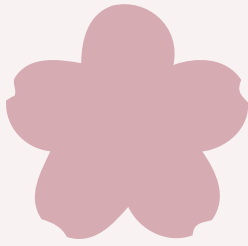


Anniversary



Contents

学生表彰	2P
卒業式	3P
秋興祭	4P
ゼミ紹介	5P
附属研究所紹介	6~7P
新成人の抱負	8P
国際交流	9P
サークル紹介	10P
就活奮闘記	11P
退職教職員紹介/後援会	12P



成績優秀者

として表彰された卒業生の皆さん



人間社会学部
公共社会学科
井上あかね

大学生生活を振り返ってみて思うのは、学生の中に自分の興味関心の幅を広げる経験をするのが大事だということです。それは大学の先生の講義はもちろん、一冊の本だったり、アルバイト先の経験だったりときっかけは様々でした。これらは日々の一環に過ぎませんが、視野を広げ、自分自身を客観視することができたと思います。それは研究テーマや自分の将来を考えるとときの土台となるのではないのでしょうか。



人間社会学部
社会福祉学科
坂田圭

私にとって福岡県立大学での4年間は、数多くの貴重な経験をする事ができたかけがえのない時間となりました。4年教はスクール(学校)ソーシャルワークが育課程で約半年にわたる実習を行いながら、就職活動と国家試験の勉強に取り組みました。これらを両立していくことは、大変な部分もありましたが、いつも丁寧に指導して下さいました先生方、楽しい時も苦しい時も共に過ごした友達の支えで最後までやり遂げることができました。また、大学祭実行委員会に所属して、学生や地域の方々と一致団結して創り上げた秋興祭を成功させた喜びは一生の宝物です。今後は、大学での学びと沢山の想い出を胸に、夢に向かって歩んでいきたいと思っています。



人間社会学部
人間形成学科
新田亜璃沙

講義の中では個人ではなくグループワークが多く、他者の違った考え方を理解し、知識をみんなで共有する機会は、自分にとって貴重な経験になりました。また新しいことを知ることが楽しかったため、実習においては講義で学んだことを生かし、試すことによってより多くの専門的な知識を学ぶことができました。その他にもアルバイトや委員会などから、楽しみながら多くのことを学べた大学生活でした。



看護学部
看護学科
塩崎千広

私は大学生活の学業において、講義や定期試験、実習など様々な場面で、「人とは比べず、自分に負けない」ということをいつも考え、取り組んできました。また、大学では、自ら学ぶという姿勢を大切に、特に、大変な時期など周りの友人達と声をかけあい、お互いを励ましあいながら、勉強するときは一心に勉強する、遊ぶ時は思いきり遊ぶというメリハリをつけるよう心がけていました。今後も日々努力し、自分を磨いていきたいと思っています。



看護学部
看護学科
濱田香澄

私は図書館を積極的に活用して勉強しました。教科書や授業のプリント、図書館の本をよく読み、分からないことは調べながら勉強を進めました。理解しにくい箇所は、図や要点を書いて内容を整理しました。また学習した内容のファイルやノートをつくり活用しました。学習会にも参加し、先生方から熱心に教えていただきました。大学は環境が整っているため、自分に合った学習スタイルで効果的に勉強することができると思います。



看護学部
看護学科
西田さくら

私は学業において、「なぜそうなるのか」ということを考えるようにしました。根拠を押さえることでより理解が深まり、勉強も楽しくなったように思います。また、分からないことは自分で納得いくまで調べたり、先生や友人に尋ねたりしました。定期試験や実習、国家試験など大変な時期も、同じ目標をもつ仲間と共に励まし合い、切磋琢磨しながら乗り越えることができたと思います。今後も向上心を持ち、4年間で学んだことをさらに深めていきたいと思っています。

卒業式



▲謝辞を述べる花房季歩さん(上)、熊本勝治さん(下)



▲式辞を述べる柴田学長

平成27年3月19日(木)、平成26年度卒業式が行われ、学部252名、大学院18名の計270名に卒業証書・学位記が授与されました。

柴田洋三郎学長は式辞の中で「守・破・離」の3文字に触れ、基本を身につける「守」、既存の殻を破る「破」、自分を捨て広く深く研鑽する「離」の精神を紹介し、「絶えず新たな挑戦を心がける」ことを説かれました。

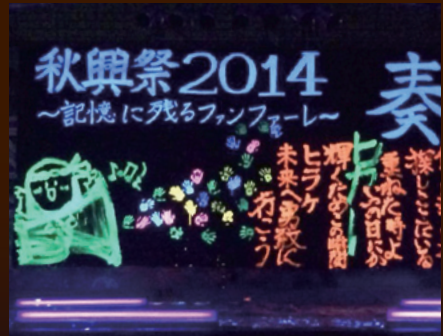
学生表彰では、成績優秀者として、公共社会学科の井上あかねさん、社会福祉学科の坂田圭さん、人間形成学科の新田亜璃沙さん、看護学科の塩崎千広さん、濱田香澄さん、西田さくらさんの計6名の卒業生が表彰されました。

学部卒業生代表として人間社会学部の花房季歩さん、大学院修了生代表として看護学研究科の熊本勝治さんが謝辞を述べ、最後に福岡県立大学吹奏楽団の伴奏で市民コーラスの皆さんとともに会場全員で学歌を合唱して式を終りました。



第23回 秋興祭

S Y U K O U S A I



天気が心配されましたが、第23回秋興祭に多数の御来場を賜り、深く感謝申し上げます。

今年の秋興祭では、田川のみなさまと学生と一緒に盛り上がるステージ上での地域企画、子ども向けの県大オリンピック企画、大人も子ども楽しめる脱出ゲーム企画などを取り入れました。

また、例年人気の模擬店や提灯越しのシンボルタワー大アートなども綿密な準備を重ねて本番にのぞみました。おかげをもちまして、多くの方に楽しんでいただける大学祭が開催できたのではないかと思います。これも皆様方の御協力あつての成功と、我々一同深く感謝しております。

今年の反省点や課題を活かし、より良い秋興祭を創り上げられるよう実行委員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

福岡県立大学 第23回秋興祭実行委員会
実行委員長
久森 彩

ゼミの授業を紹介します

寺島ゼミ



[指導教官]

人間社会学部 社会福祉学科
講師 **寺島 正博**

私たちの寺島ゼミでは、「卒業論文を早めに取り掛かり、全員で国家試験に合格しよう！」をスローガンにしています。寺島ゼミの特徴は、インタビュー調査を基に卒業論文を作成することと東京にゼミ旅行へ行くことです。卒業論文のテーマは自分の興味関心のあるテーマをもとに調べています。インタビュー調査の方法は寺島先生が詳しく指導してくれます。週に1回の発表の場では、行き詰っている所をメンバーに相談したり、他のメンバーからアイデアをもらっています。自分では気づかない視点を発見できるので大変貴重な時間になっています。意見が出ない時は、メンバーがネットで検索したり寺島先生が様々な提案をしてくれます。

東京のゼミ旅行では、東京にいる先輩方とメンバー同士で中間発表を行い卒業論文の質を高めることや、ディズニーランドへ行くことを予定しています。大学生生活最後の年に向けての決起会です。



増満ゼミ



[指導教官]

看護学部 看護学科
講師 **増満 誠**

増満ゼミでは「看護」にまつわるあらゆる現象を深く探究しています。時には文献を集めに他大学の図書館を巡ったり、福岡市内で行われた学会に参加し研究発表や臨床報告の最前線に触れ知的な刺激を得ています。また、大学周辺を探検、彦山川の川辺でスイカ割りをしたり、少数精鋭なゼミ生と我が子どもたちと学内外で「学び」と「遊び」を謳歌しています。



生涯福祉研究センター

地域社会の成熟と発展に向けて

生涯福祉研究センターは、附属幼稚園を前身として、平成10年に設立されました。本センターのミッションは次のとおりです。

- (1)生涯発達、地域福祉、地域政策に関する県民の意識と関心を高めること
- (2)筑豊地区を中心に、地域社会の成熟と発展に向けた研究、地域支援サービス、情報発信活動を行うこと

具体的には、発達が気になるお子さん、乳幼児、児童教育関係機関等を対象におもちゃの貸出と遊び場の提供をする「おもちゃとしょかん・たがわ」、発達に遅れのあるお子さんをお持ちの保護者対象の「お父さん・お母さんの学習室」、歩行と靴のトラブル相談に応じる「足と靴の相談室」、福祉用具の使い方を実践的に研究する「福祉用具研究会」、ユネスコの世界記憶遺産に登録された山本作兵衛さんの日記を研究する「山本作兵衛さん



センター長 神谷 英二

をく読む>会」、生涯福祉に関する各種研究プロジェクトなどを展開しています。また、本学の学生・教職員に対しても、「PCスキル養成講座」、「さわやかな自己表現塾」、「生命保険実学講座」、「福祉用具体験講習」などの研修会を開講しています。

平成27年4月からは、障害児教育・保育を専門とする新しい専任研究員がスタッフに加わります。この研究員を中心とした新しい地域支援や研究プロジェクトにもどうぞご期待ください。



ヘルスプロモーション実践研究センター

少子高齢化が進む筑豊に貢献したい

ヘルスプロモーション実践研究センターは、教育研究部門、地域住民対象事業部門および研究事業部門から構成され、発足して8年になります。

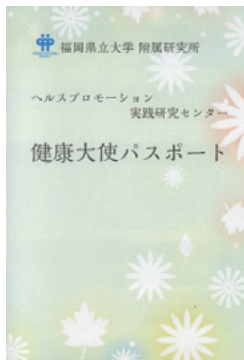
看護学部の全教員で、少子高齢化が進む筑豊の地に貢献するためかつ地域

に開かれた大学

としてよりよい健康を増進することを旨として活動展開を行っている機関です。妊産婦から高齢者まで幅広い年齢層を対象にした事業（世にも珍しいマザークラス、子どもの健康見守り隊、筑豊市民大学・ヘルシーエイジング、健康大使の育成など）を展開しています。



センター長 赤司 千波



不登校・ひきこもりサポートセンター

多くの学生サポーターが活躍しています

不登校・ひきこもりサポートセンターでは、不登校やひきこもりに関する様々な相談・支援を行っています。

センター開設後8年目に入りましたが、筑豊地域を中心に利用件数は年々増加しており、当センターに求められる支援の重要性を実感します。キャンパス・スクールをはじめ、子ども達と関わる多くの場面で学生サポーターが活躍しており、平成26年度も200名を超える県大生がサポーターとして参加しました。



センター長 小嶋 秀幹



- 相談電話
☎0947-42-1346
- 場所
福岡県立大学1号館1階



社会貢献・ボランティア支援センター

学生の社会貢献・ボランティア活動を支援しています

社会貢献・ボランティア支援センターは、学生の社会貢献・ボランティア活動を支援する様々な取り組みを行っています。そのひとつにボランティア活動に関する研修会や報告会の開催があります。今年度は、行政と連携して「福岡県大学生災害ボランティア養成研修」や「認知症サポーター養成講座」を開催するとともに、ボラン

センター長 村山浩一郎



ティア活動に取り組む学生サークルからの要望で「視覚障害者外出支援講座」を実施しました。

また、年に1回、学生がそれぞれの活動を報告し合う「社会貢献フォーラム」も開催しています。こうした研修会や報告会が学生たちの新たな活動のきっかけになればと願っています。



新成人の**抱負**

平成27年1月12日は成人の日。本学の学生の多くは在学中に新成人となります。そこで、新企画として4人の新成人に抱負を語って貰いました。「両親への感謝」、「責任の重さ」、「社会貢献」、「挑戦」、「選挙」…たくさんのキーワードがありました。大人になったとあまり肩肘張らず、「夢」に向かい「希望」を持って「明るい未来」に羽ばたいてください。

人間形成学科

山中 望



成人式を迎えられたのは、今まで育ててくれた両親や周りの人たちのおかげです。しかし、まだまだ甘えているところもあるので、これからは大人としての自覚を持ち、社会に貢献できる人になりたいです。

20歳になり、できることも増えました。残り2年間の大学生活では新しいことに積極的に挑戦していき、将来につなげていきたいと思います。

公共社会学科

久保 冠見



これからは大人としての責任の重さを感じます。しかし、同時に自分の中の甘えやいい加減さにハッとするようなことがまだまだあります。

今は学生ですが、いずれ社会人として働き始めます。不安もありますが、信頼され、仕事を任せてもらえる社会人となれるよう大学でしっかりと頑張りたいです。

一つひとつの物事に全力投球で頑張っ、社会貢献できるような大人になります。

公共社会学科

山縣 誠



この年まで自分を育ててくれた両親や、支えてくれた方々に感謝したいという感情が起きました。また、成人してお酒が飲めるようになり、できることも増えましたが、大人としての責任の重さを感じるようにもなりました。

今はまだ学生なので学問に励みたいと思いますが、卒業後に社会貢献できる社会人として働くことを意識して、自分の能力を高めるために様々なことに挑戦していきたいです。

社会福祉学科

豊永 早織



選挙に参加するなど大人になったからこそ果たせる役割が増えてきました。それにより今まで以上に気持ちが引き締まっています。そしてなにより、ここまで育ててくれた両親や、友達など私に関わってくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。その感謝の気持ちを忘れずにこれからは残りの大学生活で学べることを多く学び、2年後に社会福祉士として社会に貢献できるような社会人になりたいです。



国際交流



スピーチコンテスト

平成26年11月30日、福岡県飯塚市のイツカコミュニティセンターにて飯塚国際交流市民のつどい「スピーチコンテスト」が開催されました。本学からは外国人による日本語スピーチへ中国と韓国の留学生3名が出席し、南京師範大学からの交換留学生である謝健萍さんが「私と日本人」という題目で中国人が持つ日本人への偏見、日本人と交流することで良いイメージに変わった自身の気持ちをスピーチし、最優秀賞を受賞しました。



留学生支援事業報告 九州と大陸とのいにしへの交流を学ぶ

平成27年1月24日、本学留学生10名と国際交流に興味のある本学学生4名とで、留学生支援事業を行い、太宰府市を訪問しました。

最初に訪問した九州国立博物館では、発掘された古代の遺物を見ることにより、太古の昔から続いた大陸と九州との交流の深さを実感したようです。

続いて訪問した太宰府天満宮では、日本流の神社のお参りの仕方に戸惑いながらも、日本人学生から教えてもらいながら見よう見まねで願をかけていました。また、おみくじをひいて一喜一憂したり、家族への贈り物としてお守りを選ぶなど、興味深くしていました。

留学生にとっては、長い歴史のなかで形成された我が国の独特の風習等にふれるとともに、少なからず影響を受けた大陸との交流の歴史を日本人学生とのふれあいのなかで学べて、貴重な体験となりました。



派遣留学生だより

韓国語が全く分からない状態で留学を始めたので最初のうちは戸惑ってばかりでしたが、韓国語が分からなくても英語で一生懸命話してくれる人もいて、たくさんの人の親切に触れたことを思い出すと感慨深いものがあります。

この一年は日本にいても語学を学ぶことは出来ませんが、海外に出なければ分からない事がたくさんあるという事を実感する一年でした。日本で見る日本のニュースと海外からみる日本のニュースは少し異なっていて、視点や論点等において興味深いものが多く、より多角的な考え方を学びました。それに自分が外国人という立場になって初めてグローバルな視野で物事を見られるようになった気がします。

今回の留学生生活を通して様々な事を学び、体験し、精神的に大きく成長しました。やり残したことが無いわけではありませんが、満足のいく、とても有意義な留学生活でした。

公共社会学科 藤原 遼子



現在、本学より韓国の大邱韓医大学校へ1名、韓国の三育大学校へ2名、中国の南京師範大学へ1名の計4名を派遣中です。





体育系サークル ソフトテニス部

私たちソフトテニス部は、学生寮の近くのテニスコートで毎週月、火、木、土の週4回活動しています。経験者はもちろん初心者もたくさんいるサークルなので、初心者の方も安心して活動できます。経験者の先輩たちが丁寧かつ優しく教えるので、誰でも気軽に練習に参加することが出来ます。

ソフトテニス部はハードな練習をするサークルではなく、「楽しく」をモットーに活動しているので、厳しい上下関係や、規則などはありません。そして道具の貸し借りをしているので、新しく道具を購入する必要は無く、遊びに行く感覚で練習に参加できると思います。

また、私たちのサークルは毎年夏に合宿を行っています。合宿と言っても練習合宿ではなく、旅行のようなもので、花火やバーベキューをしたり、みんなで遊んだりします。そして合宿に参加すると部員との仲がさらに良くなり、もっとサークル活動に参加したいと思うようになるでしょう。イベントは他にもたくさんあり、いつでも笑顔が絶えません。

このように、ソフトテニスサークルでは大学生活での充実した思い出を作ることが出来ます！「大学で何かスポーツをしたいけど、自分はスポーツ苦手だし、友達もできるか不安…」という人も、不安に思うことなくどんどん来てください。友達作りはもちろんのこと、このサークルでしか味わえない楽しさを得ることが出来ます。少しでも興味を持たれた方は、ぜひ活動している様子を見に来てください！



[部長] 人間社会学部 公共社会学科
山縣 誠

サークル紹介



文化系サークル 美術部

私たちは、美術部です。普段の活動は、個人の意思に委ねられています。話しあいによって、部員同士で集まりたいなどの意見があった場合は、週に1回、造形室で活動をしたりすることもあります。

年間の大きな行事としては、コールマインで飾られるキャンドルアートづくりのお手伝い、文化祭的位置にある秋興祭での作品の展示があります。どれも簡単なものではありませんが、やりがいがあり、成し遂げたときには、やり遂げたという達成感と自分たちが作ったのだという感動を味わうことができます。また、活動の中で、部員間の距離を縮めることもできます。

普段の美術部の雰囲気は気兼ねなく、落ち着いたものです。その雰囲気の中で個人で自分の世界に浸りながら活動したり、部員同士の関わり合いの中でお互いに感性を触発しあうこともできます。

皆さんも私たちと一緒に楽しく活動してみませんか？少しでも気になると思ったのなら、気軽に足を運んでみてください。



[部長] 人間社会学部 人間形成学科
松崎 美紀





就職活動 奮闘記



就職活動状況結果報告

看護学部 看護学科
植木 昌予

内定先

**福岡市立こども病院
感染症センター**

小児看護実習をこども病院でさせていただき、入院されているこどもやその家族との関わり方や、学生・新人への指導が充実していると感じ就職を希望しました。試験対策としては、小児の主な疾患の学習や、その時期に話題になった自治問題を把握しておくようにしました。面接は、過去の情報をもとに聞かれたことのある質問に対する返答を用意するだけではなく、面接で自分が何を伝えたいのかを明らかにしていると、どんな質問にも対応できると感じました。また、キャリアサポートセンターでは本番さながらの面接練習をご指導していただいたことで、本番では落ち着いて出来たと思います。

就職してからも、自己学習を深め、何事にも意欲を持って取り組みたいと考えています。また、実習に来た後輩のいいお手本となれるように日々成長していきたいと考えています。



就職活動状況結果報告

人間社会学部 社会福祉学科
深井麻里子

内定先

社会福祉法人 桑友 (そうゆう)

私は地元での就職を考えていたので、キャリアサポートセンターの求人情報はもちろんですが、地元の福祉人材センター等様々な機関を利用して情報を集めて就職活動を行いました。元々、障害者支援に興味があったので、地元の合同説明会で福祉施設が参加している説明会や、福祉の就職説明会に参加し、その中で気になった施設が内定先でした。個別の説明会や施設見学で詳しくお話を伺ううちに、この施設で働きたいと思い試験を受けることを決めました。

卒業後は、社会人として日々成長していけるよう、一日一日を頑張っていきたいと思います。



就職活動状況結果報告

人間社会学部 公共社会学科
吉中 慶士

内定先

熊本県警察

今回、熊本県警察に内定をいただきました。私は公務員志望であり、2年生では学校の公務員講座を受け、3年生になると予備校にも通いました。

就職活動が解禁して、一般企業にも興味があったので、一般の就職活動もサービス業を中心に行いました。就職活動と学業の両立は大変でしたが、なんとか乗り切った結果、納得のいく就職活動が出来ました。

今、大学卒業後の離職率が高いと聞きます。納得のいく仕事に就くためにこれから就職活動を行う後輩には頑張ってくださいと願っています。



就職活動状況結果報告

人間社会学部 人間形成学科
松尾 佳奈

内定先

**倉敷市
(市職員保育士)**

公務員試験の勉強を始めたのは、保育士の実習が終わった6月で、大学の閲覧室を利用し、共に市職員保育士を目指す仲間と刺激を受けながら勉強をしました。2次試験対策では、毎日キャリアサポートセンターに通い、相談員の方々や先生に小論文や面接の指導をしていただきました。結果、有難いことに福岡と岡山で2つの内定をいただきました。人生を左右する大きな決断のため選択にとっても悩みましたが、両親とも話し合い、地元倉敷市で働くことに決めました。市職員の自覚を持ち、子どもや保護者、地域の方々にとしっかりと寄り添い、保育士としても人間としても日々成長していきたいです。

(H27.3.31 付)

退職教職員紹介



人間社会学部
増本 賢治

私は、平成21年に、福岡県立大学に着任しました。
大学での業務は、はじめての経験でしたので、不慣れなことが多く、皆様には、多大な御支援を頂きました。
教職員の皆様には、研究を進めさせて頂く上で、最大限、応援して頂きました。
学生教育では、担当補助をさせて頂いた授業において、優しく指導して頂きました。社会貢献では、様々なプロジェクトに参加させて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。
教職員の皆様には、心から感謝しております。6年間、御世話になり、本当に、有難うございました。



看護学部
山名 栄子

福岡県立大学が独立行政法人化した平成18年4月に着任し、9年間、皆さまには公私ともに大変お世話になり心より感謝申し上げます。
在職中は、成人看護学領域の講義・演習・実習を担当し、看護学生の教育に携わって参りました。これらの教育活動は、筑豊地域の皆さまと実習施設、教員との協同によって成し得たことと実感しております。
福岡県立大学での貴重な経験を今後活かしていく所存です、ありがとうございます。
末筆ながら、皆さまのご健康と福岡県立大学のご発展をお祈り申し上げます。

事務局 **野見山 真衣**

後援会は県大生の大学生活を応援します!!

福岡県立大学後援会は、大学と保護者の連携のもとに、学生の就職活動やキャリア形成支援、学生の修学や課外活動の助成、学生生活の安全対策等の各種支援事業を積極的に行っています。

【後援会の主な事業】

- ★合宿フォーラム補助
- ★卒業アルバム作成補助
- ★謝恩会補助
- ★公務員講座受講補助
- ★合同企業説明会バス借上料（就職EXPO参加時）
- ★実習補助（実習時超過旅費・宿泊費・マンスリー賃貸料等）
- ★図書等の購入（書籍・DVD・CD・スポーツ新聞等）
- ★各サークルへの助成（登録費・遠征費・傷害保険等）
- ★大学祭補助
- ★防犯灯・街路灯の電気代補助
- ★大学生協への補助 等

福岡県立大学後援会



福岡県立大学基金のご案内

福岡県立大学では、学生生活、教育研究等の充実を図り、福祉社会に貢献できる人材を育成することを目的に基金を設置しています。寄附金は、学生支援、国際交流、教育研究活動等の事業を実施に活用されますが、用途を指定することもできますので皆様のご支援をお願いします。

なお、公立大学法人である本学への寄附は、所得税や法人税、個人県民税等の優遇措置が設けられていますのでご利用ください。

【寄附金受入口座】

福岡銀行 伊田支店 普通 2100481
口座名義 公立大学法人福岡県立大学 柴田 洋三郎

※寄附をされる場合は、事前にご連絡をお願いします。

【連絡先】

事務局総務財務班 TEL 0947-42-2118



福岡県立大学ホームページ

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

在学生向け携帯サイト

http://www.fukuoka-pu.ac.jp/m_students/index.html

